

注3

大学番号：033

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

認可

国際医療福祉大学大学院薬学研究科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人国際医療福祉大学
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学院運営室

職名・氏名 シュニン アイザワユキ
主任・相澤有紀

電話番号 03-6406-8621

（夜間） 03-6406-8621

F A X 03-6406-8622

e-mail yuki-a@iuhw.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部（平成◇◇年度より変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	18
6. 留意事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人国際医療福祉大学

(2) 大学名

国際医療福祉大学

(3) 大学の位置

〒324-8501
栃木県大田原市北金丸字上ノ原2600番1
〒107-0062
東京都港区南青山1-3-3

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成6年12月21日)		
学長	(キタジマ マサキ) 北島 政樹 (平成21年7月1日)		
大学院長	(カナザワ イチロウ) 金澤 一郎 (平成23年1月13日)	(アマノ タカヒロ) 天野 隆弘 (平成27年1月1日)	前任者の健康上の理由による退任に伴う変更 (27)
研究科長	(タケダ ヒロシ) 武田 弘志 (平成24年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成25年度開設の博士後期課程の場合(平成27年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 医療・生命薬学専攻 (博士課程) 博士(薬学)	4 年	5 人	20 人	基礎となる学部等 薬学部薬学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	5人 (-) [-]	-	5人 (-) [-]	-	5人 (-) [-]	-	5人 (-) [-]	-	0.8倍	倍	
志願者数	6 (4) [1]	0 (0) [-]	6 (4) [1]	0 (0) [-]	2 (2) [-]	0 (0) [-]	2 (0) [1]	0 (0) [-]			
受験者数	6 (4) [1]	0 (0) [-]	6 (4) [1]	0 (0) [-]	2 (2) [-]	0 (0) [-]	2 (0) [1]	0 (0) [-]			
合格者数	6 (4) [1]	0 (0) [-]	6 (4) [1]	0 (0) [-]	2 (2) [-]	0 (0) [-]	2 (0) [1]	0 (0) [-]			
B 入学者数	6 (4) [1]	0 (0) [-]	6 (4) [1]	0 (0) [-]	2 (2) [-]	0 (0) [-]	2 (0) [1]	0 (0) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.20		1.20		0.40		0.40				

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 7	[-] (-) -	[1] (-) 6	[-] (-) -	[-] (-) 2	[-] (-) -	[1] (-) 2	[-] (-) -	平成24年度1年次生の在学生のうち1名は 当大学院の他研究科からの転科によるもの (平成26年に修了)
2年次			[-] (-) 7	[-] (-) -	[1] (-) 6	[-] (-) -	[-] (-) 2	[-] (-) -	
3年次					[-] (-) 7	[-] (-) -	[1] (-) 6	[-] (-) -	
4年次							[-] (-) 6	[-] (-) -	
計							[2] (-) 16		
	[-] (-) 7		[1] (-) 13		[1] (-) 15		[2] (-) 16		

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	6 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	6 人	0 人	平成25年度	人	人		0 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	2 人	0 人	平成26年度	人	人		0 %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	2 人	0 人	平成27年度	人	人		0 %
合 計	16 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
- （記入項目例）・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<薬学研究科 医療・生命薬学専攻（博士課程）>

（１）授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
共 通 科 目	人体病理学特論	1・2前 未開講 1・2前		1							兼 1 通常開講（27） 履修希望者がいなかったため（26）
	統計学特論（基礎）	1・2前		2							兼 1
	統計解析学特論（実践）	1・2後		2							兼 1 科目専門性を考慮し、縣俊彦に 変更（25）
	人体機能構造学特論	1・2後 1・2後 未開講 1・2後		2		1					履修希望者がいなかったため（27） 履修希望者がいなかったため（26） 通常開講（25） 履修希望者がいなかったため（24）
	疫学特論	1・2前		2		1					
	臨床心理学特論	1・2後 1・2前		2							兼 1 学生への教育効果を考慮し開講 学期を変更（24）
	質的研究法特論	1・2前		2							兼 1 科目専門性を考慮し、磯野真穂 に変更（26）
	医療経済評価特論	1・2前		2		1					
	医学研究情報特論	1・2前 1・2前		2							兼 1 教員退職により非開講（後任者 調整中）（27） 教員退職により非開講（後任者 調整中）（26）
	英語論文執筆特論	1・2前 未開講 1・2前 1・2後		2							兼 1 通常開講（26） 科目専門性を考慮し、磯野真穂 に変更（26） 履修希望者がいなかったため（25） 学生への教育効果を考慮し、開 講学期を変更（24）
	博士課程のための研究法入門	1・2・3・4前		2							兼 1 学生への教育効果を考慮し新規 開講（27）

専門科目	分子生物ゲノム学特論	1・2後		1		1 2					金野柳一退職に伴い、担当教員数を変更 (27)
	レギュラトリーサイエンス特論	1・2・3・4後 未開講 1・2・3・4後 2・3・4後		1		1 2					通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため (26) 佐藤拓夫退職に伴い、担当教員数を変更 (26) 学生への履修の便宜を図り、配当年度を変更 (24)
	毒性学特論	1・2・3前 未開講 1・2・3後		1		1		2			通常開講。学生への教育効果を考慮し、配当学期を変更 (26) 履修希望者がいなかったため (25) 履修希望者がいなかったため (24)
	基礎薬物治療学特論	1・2・3後 未開講 1・2・3後		2		4	1				通常開講 (25) 履修希望者がいなかったため (24)
	臨床薬物治療学特論	2・3・4後 未開講 2・3・4後		2		1				兼 3	操華子退職に伴い、崎浜智子が就任 (26) 通常開講 (25) 履修希望者がいなかったため (24)
	緩和医療薬学特論	1・2・3・4前 1・2・3・4後 3・4後		1		2	1				学生への教育効果を考慮し、配当学期を変更 (26) 学生への履修の便宜を図り、配当年度を変更 (24)
	基礎腫瘍学特論	1・2・3・4後 1・2後		1		2					学生への履修の便宜を図り、配当年度を変更 (24)
	臨床腫瘍学特論	 1・2・3・4後 3・4前		2		1 2 3				兼 2 兼 1	旭満里子退職に伴い担当教員数変更 (27) 太田恵一朗退職に伴い担当教員数変更、吉田昌が兼任として一部担当 (25) 学生への履修の便宜を図り、配当年度を変更 (24)
	基礎薬学総合特論	1・2前	2			2	4				榊原巖退職に伴う教員数変更 (27) 徳村忠一退職に伴う教員数変更 (25) 後藤了退職及び横山秀克急逝に伴う教員数変更 (24)

専 門 科 目 (つ づ き)	応用薬学総合特論	1・2前 未開講 未開講 1・2前	2			5 6 6	2 3 3			真野康成退職に伴い、担当教員数変更 (27) 履修希望者がいなかったため (26) 佐藤拓夫退職に伴い、担当教員数を変更 (26) 通常開講 (25) 履修希望者がいなかったため (24)
	臨床病院特別研修	1・2・3通		5		1	1		兼 1	真野康成退職に伴い、担当教員数変更 (27) 旭満里子退職に伴い担当教員数変更、非常勤講師として講義担当は継続 (27)
	臨床保険薬局特別研修	1・2・3通		5		1	1			真野康成退職に伴い、担当教員数変更 (27)
	医療・生命薬学特別研究	1～4通	16			14 11 12 12	2 2 3 4			旭満里子、金野柳一、榊原巖退職に伴い教員を追加 (27) 担当 笠原忠 (教授) 平成27年1月 教員審査済み 判定 可 担当 山下勝幸 (教授) 平成27年1月 教員審査済み 判定 可 担当 中村裕義 (教授) 平成27年1月 教員審査済み 判定 可 担当 百瀬泰行 (教授) 平成27年1月 教員審査済み 判定 可 (研究指導補助) 担当 島田直樹 (教授) 平成27年1月 教員審査済み 判定 可 担当 前澤佳代子 (准教授) 平成27年1月 教員審査済み 判定 可 徳村忠一退職に伴う教員数変更 (25)、太田恵一朗退職に伴う教員数変更 (25) 横山秀克急逝に伴う教員数変更 (24)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号 (その2の1) に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て (兼任、兼担教員が担当する科目を含む。) を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時 (平成27年度に認可された大学等は設置認可時) より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等 (平成19年度認可以前) についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 3	科目 20	科目 0	科目 23	科目 3	科目 21	科目 0	科目 24	
				[]	[1]	[]	[1]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	医学研究情報特論	2	1・2前	一般	選択	教員退職によるもの。後任調整中。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該科目の後任を速やかに選定し、早期の再開を予定している。なお、非開講となっていることについては、学生向けの冊子「履修の手引き」に記載するとともに、学生用のweb掲示板等にて告知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.05}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	※大学全体			
	校 舎 敷 地	194,962㎡ 182,181㎡ 166,067㎡	0㎡	0㎡	194,962㎡ 182,181㎡ 166,067㎡	小田原保健医療学部 で校地を購入したた め増加 (26) 附属病院敷地を借用 契約したため増加 (27) 成田キャンパス (2学 部) 校地を無償借用 のため増加 (27)			
	運動場用地	88,807㎡ 83,147㎡ 76,402㎡	0㎡	0㎡	88,807㎡ 83,147㎡ 76,402㎡				
	小 計	283,796㎡ 265,328㎡ 242,469㎡	0㎡	0㎡	283,796㎡ 265,328㎡ 242,469㎡				
	そ の 他	372,790㎡ 216,438㎡ 216,438㎡	0㎡	0㎡	372,790㎡ 216,438㎡ 216,438㎡				
	合 計	656,559㎡ 481,766㎡ 458,907㎡	0㎡	0㎡	656,559㎡ 481,766㎡ 458,907㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		69,103㎡ 65,189㎡	0㎡	0㎡	69,103㎡ 65,189㎡	福岡看護学部で校舎 を借用したため増加 (26)			
		(65,189 m㎡)	(0 m㎡)	(0 m㎡)	(65,189 m㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	※学部と共用のため 大学全体		
		154室	37室	214室	4室 (補助職員 3人)	3室 (補助職員 3人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		薬学研究科			26 室				
(5)	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					
		冊	種	〔うち外国書〕					点
図 書 ・ 設 備	薬学研究科	16,000 [2,500] (14,000 [2,200])	2,600 [1,500] (2,360 [1,260])	2,400 [1,400] (2,100 [1,200])	800 (600)	6,800 (6,400)	170 (150)		
	計	16,000 [2,500] (14,000 [2,200])	2,600 [1,500] (2,360 [1,260])	2,400 [1,400] (2,100 [1,200])	800 (600)	6,800 (6,400)	170 (150)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		※学部と共用のため 大学全体	
		5,100㎡		1,087		243,000			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				※学部と共用のため 大学全体	
		9,461㎡		弓道場、テニスコート6面、武道場					
(8)	経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	800千円	800千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	
		共 同 研 究 費 等	12,000千円	12,000千円	設備購入費	35,000千円	35,000千円	35,000千円	
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		900千円	700千円	700千円	700千円	千円	千円		
		学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の

項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成２７年５月１日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	国 際 医 療 福 祉 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
保健医療学部	年	人	年次 人	人		倍			
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.26	平成7 年度	栃木県 大田原市 北金丸 2600番1	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.28	平成7 年度		
作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法 学)	1.28	平成7 年度		
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴 覚学)	1.23	平成7 年度		
視機能療法学科	4	40	-	160	学士 (視機能療 法学)	1.26	平成14 年度		
放射線・情報科 学科	4	100	-	400	学士 (放射線・情 報科学)	1.25	平成7 年度		
医療福祉学部						1.12			
医療福祉・マネ ジメント学科	4	160	-	640	学士 (医療福祉 学) (医療マネ ジメント 学)	1.12	平成20 年度		
薬学部						1.11			
薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)	1.11	平成18 年度		

大 学 の 名 称	国 際 医 療 福 祉 大 学 (つづき)									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		収容定員増(27)
小田原保健医療学部						1.22		神奈川県 小田原市城山 一丁目2番25号		
看護学科	4	80 50	－	320 200	学士 (看護学)	1.16	平成18 年度			
理学療法学科	4	40	－	160	学士 (理学療法学)	1.24	平成18 年度			
作業療法学科	4	40	－	160	学士 (作業療法学)	1.29	平成18 年度	福岡市早良区百 道浜1-7-4		
福岡看護学部						1.26				
看護学科	4	80	－	320	学士 (看護学)	1.26	平成20 年度			
福岡保健医療学部						1.22		福岡県大川 市榎津137番 地1号		
理学療法学科	4	80	－	320	学士 (理学療法学)	1.24	平成17 年度			
作業療法学科	4	40	－	160	学士 (作業療法学)	1.21	平成17 年度			
言語聴覚学科	4	40	－	160	学士 (言語聴覚学)	1.18	平成19 年度			
医学検査学科	4	80	－	320	学士 (医学検査学)	1.24	平成25 年度			

大 学 の 名 称	国 際 医 療 福 祉 大 学 大 学 院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 定 学 員	収 定 容 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
医療福祉学研究科	年	人	年次 人	人		倍			
修士課程保健医療学専攻	2	100	-	200	修士（保健医療学）、修士（看護学）、修士（助産学）	1.18 1.31	平成11年度		
修士課程医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士（医療福祉）、修士（診療情報管理学）、修士（医療ビジネス経営学）	1.05	平成13年度		
修士課程臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士（臨床心理学）	0.96	平成19年度		
博士課程保健医療学専攻	3	50	-	150	博士（保健医療学）、博士（看護学）、博士（助産学）、博士（医療福祉経営学）、博士（医療福祉学）、博士（診療情報管理学）、博士（医療福祉心理学）、博士（医療福祉ジャーナリズム学）	1.33	平成13年度	栃木県 大田原市 北金丸 2600番1	

大 学 の 名 称	国 際 医 療 福 祉 大 学 大 学 院 (つづき)								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
薬科学研究科 修士課程生命薬 科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科 学)	0.30 0.30	平成22 年度	栃木県 大田原市 北金丸 2600番1	
薬学研究科 博士課程医療・ 生命薬科学専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.80 0.80	平成24 年度		

5 教員組織の状況

＜薬学研究科 医療・生命薬学専攻（博士課程）＞

（１）担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (研究科 長)	タケダ ヒロシ 武田 弘志 (58)	<平成24年4月>	基礎薬物治療学特論						
				緩和医療薬学特論						
				医療・生命薬学特別研究						
専	教授	サトウ タクオ 佐藤 拓夫 (63)	<平成24年4月>	レギュラトリーサイエンス特論	専	教授	池田 俊也 (51)	平成26年4月	レギュラトリーサイエンス特論	平成26年3月 佐藤拓夫教授定年退職のため 担当コマ数の変更(26)
				応用薬学総合特論	専	教授	池田 俊也 (51)	平成26年4月	応用薬学総合特論	
専	教授	アサヒ マリコ 旭 満里子 (62)	<平成24年4月>	臨床腫瘍学特論	専	教授	池田 俊也 (52)	平成27年4月	臨床腫瘍学特論	平成27年3月 旭満里子教授定年退職・ 非常勤講師として指導(27)
				臨床病院特別研修	兼任	非常勤	旭 満里子 (65)	平成27年4月	臨床病院特別研修	
				医療・生命薬学特別研究			後任未定		医療・生命薬学特別研究	
専	教授	コンノ リュウイチ 金野 柳一 (62)	<平成24年4月>	分子生物ゲノム学特論	専	教授	白石 昌彦 (55)	平成27年4月	分子生物ゲノム学特論	平成27年3月 金野柳一教授定年退職のため 担当コマ数の変更(27)
				医療・生命薬学特別研究			後任未定		医療・生命薬学特別研究	
専	教授	オノ マチコ 尾能 満智子 (61)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論						
				医療・生命薬学特別研究						
専	教授	ワタナベ トシコ 渡邊 敏子 (58)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論						
				医療・生命薬学特別研究						
専	教授	オオタ ケイイチロウ 太田 恵一郎 (58)	<平成24年4月>	臨床腫瘍学特論	兼任	准教授	吉田 昌(50)	平成25年7月	臨床腫瘍学特論	平成25年3月 太田恵一郎教授退職のため 学内教員にて補充(25)
				医療・生命薬学特別研究			後任未定		医療・生命薬学特別研究	
専	教授	クロサワ ミエコ 黒澤 美枝子 (56)	<平成24年4月>	人体機能構造学特論						
				基礎薬物治療学特論						
				医療・生命薬学特別研究	専	教授	黒澤 美枝子 (59)	平成27年4月	医療・生命薬学特別研究	平成27年1月 AO教員審査にてD○合(27)
専	教授	スナミ アキヒロ 角南 明彦 (53)	<平成24年4月>	基礎薬物治療学特論						
				応用薬学総合特論						
				医療・生命薬学特別研究						
専	教授	ハラ アキヨシ 原 明義 (53)	<平成24年4月>	基礎薬物治療学特論						
				応用薬学総合特論						
				医療・生命薬学特別研究						
専	教授	ヤマダ ハルミ 山田 治美 (52)	<平成24年4月>	臨床薬物治療学特論						
				臨床保険薬局特別研修						
				医療・生命薬学特別研究						
専	教授	シライシ マサヒロ 白石 昌彦 (52)	<平成24年4月>	分子生物ゲノム学特論						
				基礎腫瘍学特論						
				臨床腫瘍学特論						
専	教授	アサノ サトシ 浅野 哲 (52)	<平成24年4月>	毒性学特論						
				基礎腫瘍学特論						
				応用薬学総合特論						

専	教授	イクダ シュンヤ 池田 俊也 (49)	<平成24年4月>	疫学特論						
				医療経済評価特論						
				レギュラトリサイエンス特論						
				応用薬学総合特論						
				医療・生命薬学特別研究						
専	教授	アミノ タク 天野 託 (48)	<平成24年4月>	緩和医療薬学特論						
				応用薬学総合特論						
				医療・生命薬学特別研究						
					専	教授	カサハラ タダシ 笠原 忠 (66)	<平成27年4月>	医療・生命薬学特別研究	平成27年1月 AC教員審査済み(27)
					専	教授	ヤマシタ マサユキ 山下 勝幸 (57)	<平成27年4月>	医療・生命薬学特別研究	平成27年1月 AC教員審査済み(27)
					専	教授	ナカムラ ヒロヨシ 中村 裕義 (57)	<平成27年4月>	医療・生命薬学特別研究	平成27年1月 AC教員審査済み(27)
					専	教授	モモセ ヤスユキ 百瀬 泰行 (57)	<平成27年4月>	医療・生命薬学特別研究	平成27年1月 AC教員審査済み(27)
					専	教授	シマダ ナオキ 島田 直樹 (51)	<平成27年4月>	医療・生命薬学特別研究	平成27年1月 AC教員審査済み(27)
専	准教授	トクムラタダカズ 徳村 忠一 (55)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論	専	准教授	榑原 巖 (55)	<平成25年4月>	基礎薬学総合特論	平成25年3月 徳村忠一准教授一身上の都合により退職のため、科目内で担当者を変更(25)
				医療・生命薬学特別研究	専	教授	尾能 満智子 (64)	<平成27年4月>	基礎薬学総合特論	平成27年3月 榑原巖准教授一身上の都合により退職のため、科目内で担当者を変更(27)
							後任未定		医療・生命薬学特別研究	
専	准教授	サカキバイワオ 榑原 巖 (54)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論	専	教授	尾能 満智子 (64)	<平成27年4月>	基礎薬学総合特論	平成27年3月 榑原巖准教授一身上の都合により退職のため、科目内で担当者を変更(27)
				医療・生命薬学特別研究			後任未定		医療・生命薬学特別研究	
専	准教授	ヨコヤマヒデアキ 横山 秀克 (49)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論	専	准教授	徳村 忠一 (55)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論	平成24年4月 横山秀克准教授急逝のため、科目内において担当者を変更(24)
				基礎薬学総合特論	専	准教授	榑原 巖 (55)	<平成25年4月>	基礎薬学総合特論	平成25年3月 徳村忠一准教授一身上の都合により退職のため、科目内で担当者を変更(25)
				基礎薬学総合特論	専	教授	尾能 満智子 (64)	<平成27年4月>	基礎薬学総合特論	平成27年3月 榑原巖准教授一身上の都合により退職のため、科目内で担当者を変更(27)
				医療・生命薬学特別研究			後任未定		医療・生命薬学特別研究	
専	准教授	ゴトウ サトル 後藤 了 (47)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論	専	教授	尾能 満智子 (61)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論	平成24年3月 後藤了准教授一身上の都合により退職のため、教育内容を精査・調整し、科目内において担当者を変更(24)
				基礎薬学総合特論	専	教授	渡邊 敏子 (58)	<平成24年4月>	基礎薬学総合特論	
専	准教授	ツジ ミノル 辻 稔 (41)	<平成24年4月>	基礎薬物治療学特論						
				緩和医療薬学特論						
				医療・生命薬学特別研究						
					専	准教授	マエザワ カヨコ 前澤 佳代子 (47)	<平成27年4月>	医療・生命薬学特別研究	平成27年1月 AC教員審査済み(27)
専	講師	シミズ タカヒサ 清水 貴壽 (45)	<平成24年4月>	毒性学特論						
				応用薬学総合特論						
専	講師	カトウ ヒデアキ 加藤 英明 (40)	<平成24年4月>	毒性学特論						
				応用薬学総合特論						
専	講師	マノ ヤスナリ 真野 泰成 (38)	<平成24年4月>	応用薬学総合特論	専	教授	池田 俊也 (52)	平成27年4月	応用薬学総合特論	平成27年3月 真野泰成講師一身上の都合により退職のため、科目内で担当者を変更(27)
				臨床病院特別研修	兼任	非常勤	旭 満里子 (65)	平成27年4月	臨床病院特別研修	
				臨床保険薬局特別研修	専	教授	山田 治美 (56)	平成27年4月	臨床保険薬局特別研修	
兼任	教授	カメグチ ケンジ 亀口 憲治 (64)	<平成24年4月>	臨床心理学特論						

兼担	教授	モリ イチロウ 森 一郎 (60)	<平成24年4月>	人体病理学特論						
兼担	教授	スマザキ ケイ 沼崎 啓 (57)	<平成24年4月>	臨床薬物治療学特論						
兼担	教授	スズキ ユタカ 鈴木 裕 (52)	<平成24年4月>	臨床腫瘍学特論						
兼担	教授	キタムラ ヨシヒロ 北村 義浩 (51)	<平成24年4月>	英語論文執筆特論	兼担	講師	磯野 真穂 (37)	<平成26年4月>	英語論文執筆特論	担当講師が就任したため(26) 履修希望者がいなかったため未開講 (25)
				臨床薬物治療学特論						
兼担	教授	ミサオ ハナコ 操 華子 (48)	<平成24年4月>	臨床薬物治療学特論	兼担	准教授	崎浜 智子(47)	<平成26年4月>	臨床薬物治療学特論	担当教員が就任したため(26)
					兼任	講師	操 華子(50)	<平成25年4月>	臨床薬物治療学特論	平成25年3月31日操華子教授一身上 の野都合により退職、非常勤講師とし て科目を担当(25)
					兼担	教授	アカイ マサミ 赤居 正美 (66)	<平成27年4月>	博士課程のための研究 法入門	新規開講のため(27)
兼担	講師	フジイ トシヤ 藤井 稔也 (48)	<平成24年4月>	医学研究情報特論			後任未定			藤井稔也講師一身上の都合により退 職のため(25)後任調整中の
兼担	講師	ナカヤマテルユキ 中山 晃志 (39)	<平成24年4月>	統計学特論(基礎)						
兼任	講師	オオハシ ヤスオ 大橋 靖雄 (58)	<平成24年4月>	統計解析学特論(実 践)	兼担	教授	縣 俊彦 (61)	<平成25年4月>	統計解析学特論 (実践)	担当教授が就任したため(25)
兼任	講師	マツザワカズマサ 松澤 和正 (54)	<平成24年4月>	質的研究法特論	兼担	講師	アノハル (37)	<平成26年4月>	質的研究法特論	担当講師が就任したため(26)
兼任	講師	ワタナベヒロユキ 渡邊 裕之 (46)	<平成24年4月>	統計解析学特論(実 践)	兼担	教授	縣 俊彦 (61)	<平成25年4月>	統計解析学特論 (実践)	担当教授が就任したため(25)

(注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成27年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成			年齢構成(前年度の状況)	
研究指導教員	研究指導 補助教員	計	研究指導教員	研究指導 補助教員	計	定年規定 の定める 定年年齢	定年を延長 している教員数		定年規定の 定める定年 年齢	定年を延長 している教員数
13	3	16	14	2	16	65	1		65	0
(13)	(3)	(16)	[1]	[△1]	[-]	歳	名		歳	名

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。
- ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	後藤 了	自己都合退職したため（24）
2	准教授	横山 秀克	当該教員の急逝のため（24）
3	教授	太田 恵一郎	自己都合退職したため（25）
4	准教授	徳村 忠一	自己都合退職したため（25）
5	教授	佐藤 拓夫	自己都合退職したため（26）
6	教授	旭 満里子	定年退職のため（27）
7	教授	金野 柳一	定年退職したため（27）
7	准教授	榊原 巖	自己都合退職したため（27）
8	講師	真野 泰成	自己都合退職したため（27）

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

やむを得ない理由による退職であると判断した。死亡、退職の教員担当の科目は、審査を受けた他の教員が教育を行うため、支障は生じない。学生には掲示、オリエンテーション及び「履修の手引き・学生生活の手引き」（学生便覧）への掲載等により周知した。

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成23年10月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成24年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成25年5月)	福岡保健医療学部医学検査学科、保健医療学部放射線・情報科学科、小田原保健医療学部理学療法学科の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	平成25年度入試において、入学辞退者人数の見込みが予想より少なく、定員超過してしまった経験があり、その教訓をふまえ、本年度は定員超過が起きないように、合格者数の抑制を行った。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年5月)	福岡保健医療学部医学検査学科、保健医療学部放射線・情報科学科、小田原保健医療学部理学療法学科の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	平成25年度入試において、入学辞退者人数の見込みが予想より少なく、定員超過してしまった経験があり、その教訓をふまえ、本年度は定員超過が起きないように、合格者数の抑制を行った。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年5月)	該当なし		

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学研究科 医療・生命薬学専攻（博士課程）>

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	1～6の項目以外に、特記すべき変更や法令適合性に関して生じた留意すべき事項は無い

- （注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 国際医療福祉大学FD委員会規程を添付 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 毎月1回 分野責任者・大学院幹部教員参加による代表者会議開催、研究科会議 c 委員会の審議事項等 アカデミックハラスメントについて、論文審査について、e-learning授業について 等 ② 実施状況 a 実施内容 ・ 昨年度はFDを8月1日に開催して、本大学院の教員の研究指導能力の向上について、分野横断的な小グループによるディスカッション・プレゼンテーションを行った。 ・ また外部講師を招いた講演を同時に開催した（平成26年度講師は北村義浩東京大学教授）。 b 実施方法 遠隔テレビ会議システムを使用したプレゼンテーション及び質疑応答 c 開催状況（教員の参加状況含む） 平成21年7月22日開催 214名中89名出席、平成22年7月28日開催 222名中88名出席 平成23年7月27日開催 294名中98名出席、平成24年8月3日開催 221名中99名出席 平成25年8月2日開催 292名中99名出席、平成26年8月1日開催 231名中112名出席 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ FDの開催について参加者アンケートを実施し、結果をフィードバックする。 ・ 今後の研究指導や論文審査の方法等の見直しを図る。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 ・ 学生に対しては授業評価ならびに指導環境・指導体制について例年アンケートを行っている b 教員や学生への公開状況、方法等	
--	--

- （注）・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
平成24年に研究科を開設し教育活動を進めてきたが、高度な知識・技術・経験を備えた専門性の高い薬剤師の養成という目的を十分に満たした教育内容と考えている。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
・平成26年9月末日 公開
- b 公表方法
・大学ホームページ上で公開済み。
- ③ 認証評価を受ける計画
・平成26年度日本高等教育評価機構の評価受審済み（結果は大学ホームページ上で公開）。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年 7 月 1 日)